湖月抄

第六十六卷

雲雀 并四 細 以歌為巻名歌ハ伺るぞ

つゝ紀之をとばりの恨を人やしづめん元以詞并歌ハ

雲に花紅葉ハ詞よハ多てこゝあり一物二名 細 源氏ハ六条の

友あり是の并く花日 愚按 一説よりさうく ハ為巻名

せをつて帝してまつりたく
ひとぐめして 飛 歩水 細 ひやくうるみく
まいらん 細 水飯 細 今の世ふるまわるひて冷汁よて食く
孟 ひめハ飯をあつくして冷水にそめて冷汁よて食く
あのくいとむくなる
細 原相ぐくまで六象流
ハ源しきをるるよ亀
ぐうきいらしのおるる暑
さこそあるうるく殿閣
生微涼のんあり孟むく
ハ無法く 細 拙茶みよむ
くなる拙午のくさよ
ゆる船ちく 異梅源うう
ねもあ玄源をとるるん
ゆるうん
いとうるぬいあそびみでも
細 もるわさもるきとく
孟 もるわさも暑よう
てんよいくむでみでハ
暑しぐくとるふよさ
をるよとく 拙 暑の心を
ぬびあもとうぬるぐよ
孟 暑素 前 細 孟 節 級 く

暑素の節も入級も暑附ハとくるれぬるぐるのんうみくぐ
ゆくあるゆしてんぬぐるく
ゆるくさくめぬぐうん 暑素 前よりねるくるうわるくぬしまるるるとあり
前 花 あり

いうるよ源の伊年参るるとく
世間
るくゆるくさるびみるるるらるるしをげん
のくくをぬがるるーやるるのるまんど
細 んくのくのくく
めるくくくくてるらいでるくえん
ぬるくうるくえてねぐるくこまりるやう
背
ふるくくれいて源くるるるうんよせなる
細 原の相
押
ぬくくるるひ絵いそくくくくくくと
近江の名と云へ共ハ名乃
げぼ
ぬやぬるぐのぬるぐくのむを絵くしぐる
拍の年之後記録大長く
細 年のかれのかれの相
孟 えれぐるるとえる
まくくくくくく

この芸はてうちひ
細 蛍の巻の奥よりあり 玉鬘の巻よ
の義し 発義のよ蛍よ
ありうよい芸の此と云
是芸の此みのみ
はつきしや 是陸 是宿
府の夕夜のゆりとち
ねくらてえ逢ゆも
内府のよと各芸とうう人
あくいみくくめうくの
ていとうくれそれ蛍
てあうう人内府のよと名
是ううと抱其の芸つけ
てくくひい是てくれくく
此近江君ゆうさ人と
の抱えく
れくひ 細 鰐也 陸鰐縁
くくうくく仲源よれ
くうくうくく源あうく
けくん人うう 伺 変損 変瓶
細 海亂 腹ゆめうく
人の部損ううく
いくみりうう 細 源の須くさ
くくと内右腹ハれさくもあま

みもそぐくぐうう。この芸はてうちひ 内府のく 芸は君の
ぐうう源ろう。抱のうくつくくきう女の。
是ゆうくくく

中納のそこも　花　夕雾るこずゑ　細　是は柏木と云
しるべなるべし　細　是は柏木と云
朔日や　細夕雾　とそこ
のみつく　雲井の雁よりは
らひのみつるとは備と云
ひるみれば　雲井雁　とは
源氏の女　とるうも
ひろく
ふるさとの　細　雲井の雁の母
仰　雲井のすゑ　夕雾れ
内府　ようそこれまとと
ろさとそこ　細　朝曉也
ものそこ　仰わる宿
そこのむしのこの
りばかりぐぐとそこ
もこそあ　逝去を雲
井の姉妹　れは
そこ　仰　雲井
屋の人ろさを　逝去を
てすぐさんと
そこ　細　仰
細　の雲井の雁と
内府　ようけて
細　の雲井の雁と
内府　ようけて
細　の雲井の雁と
内府　ようけて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

諸樂器平調とは
はじめて五常樂を始
ともの者なれば五調今
初めてこれを西洛の平調
勿論元初別平調八説
云ふ如く四季の通用
なくして平調と
なるのことい
方にもなるべきの
なるべしの

[illegible]

琴くのあそびの事 細 [illegible]

[illegible] 論じ給もうていうく和國のもの [illegible]

くのこと [illegible] 細 [illegible]

[illegible] 楽よ合てちうひ [illegible]

うくこんうて 細 和琴 [illegible]

琴くのこくくにさのこ [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうにまうしあつかひたりしに、主殿のたくみ、ふかくたのみたりしに、なほ一勘親さうとゝ、と侍民教めさせて、おぼつかなくのこむさまなどよしせてうしなひつゝ、義経の家司、

ゆやさうとゝ書い　細二義わり、源の内大臣とさげまふとゝうり、この義ハ源の親ひろ

みもと西響の志給いたりをたゞ義経の家お遣

さえいんよりまんらぬ　細一切の藝能人よりらでいすりうさきゆく公人のと

しつてうれん　白おほ文忠調評

義　唐書よハおほ文傳と

く日本よハ忠文忠と

くゝハあるまくまく文を

ゆふとよまきそよまゝ

て、あハ其ゝんして引べし

とゝうり愚業文を号ふ

とゝうまハ女の男よりすぐ

りうべ、さうまれいく

のまよりたゝあるべし

ち、ゆゑ　白　玉女　玉孫

の女　細　古文ゆゑの女

のとそ

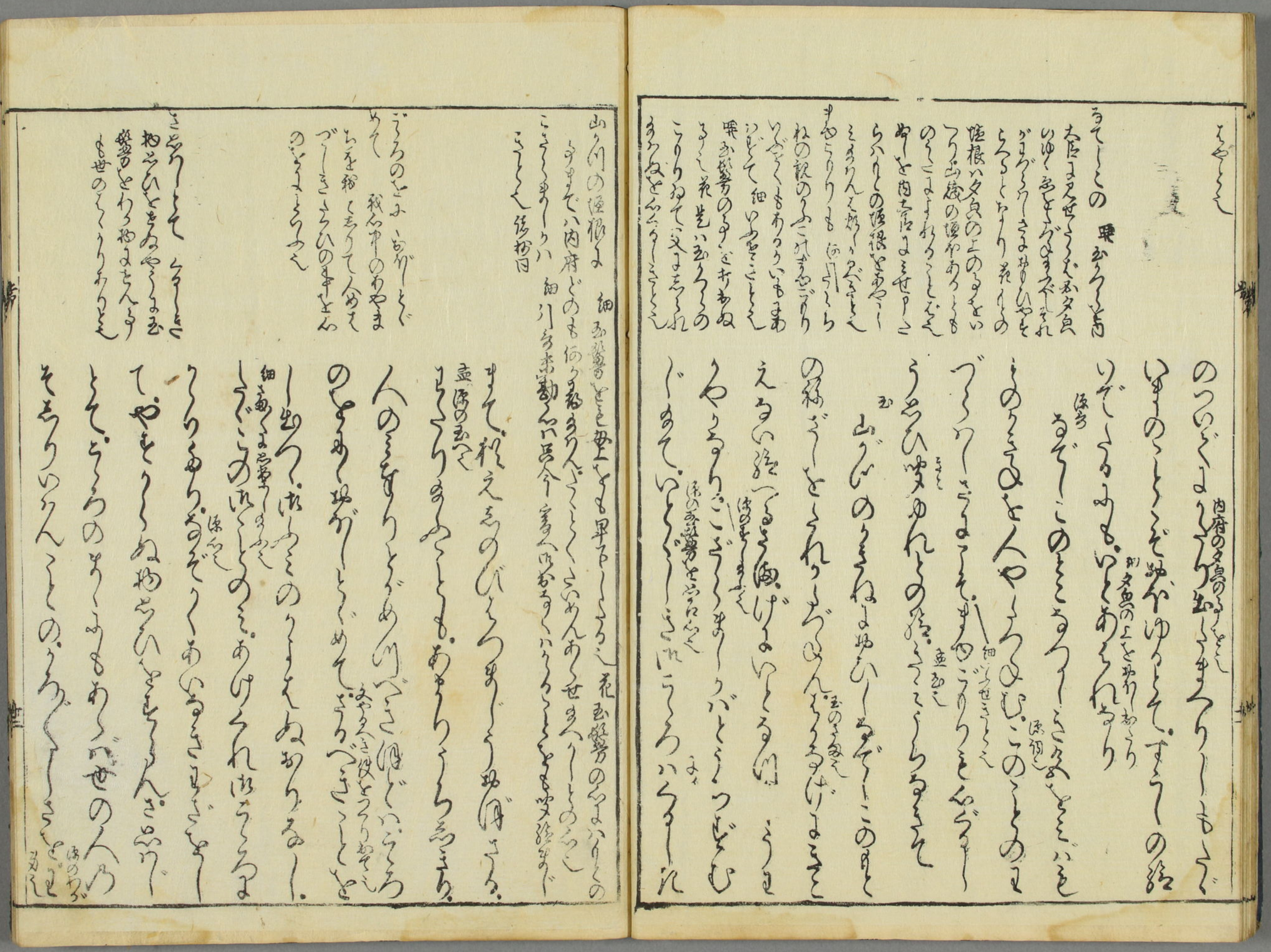
ゆゑ　もゝ引あるん

ゆゑ　ゆゑ　りとゆうゝ

くしるまとゝうまでゆ

うくのゝ心の中よ源

の今ゆゑ、ひさまうゝ、ゆゑ、ゆゑ、ゆゑ



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よのなかのことを仰山賤なるどあるいは云はるゝ事有
べしおぼしめしよりほかの話
なるべし
このもとりれるすハ仰世上の
のもの八ばかりどゝ云流
の内府のもとあれど
同をしてゝ仰のものの
をつゝ
これまでなるあり
花りの内頃よりゝ八年
くばかりあるんちすま
しい面目ちきゝ

いでそれいかの世ぐ
細内大臣の初源の西む
もめてさくうり云
もちさこゆるなるべし
孟源の女ゝ云程よりの
事よりちるゝ人ゝよ

ぬ山ぐの川のみむ(おうろくゝ)とりて(ゝ)ゆめ
ちれ世ちくゝ人のうゝをどゝさ給ちぬ
(源氏ゝ)世ちぐの(あやしくゝ仁八年)このもとりのゝとはうゝをめて
そ世ちゝめ給やうしまぞ世ぐしあるこて
ちしけるの給がねみゝの示り
(孟源の内府へ下ちゝ頃ゝ)(細おうろくゝ)
ちくゝ人をいとゝとゝもるさけつい
ちくゝ人ゝ(黄金ゝ)ゝ給ゝ黄金ゝのゝや
ゝ(ゝまゝ)ゝ
ゝゝいうゝんゝぐめての給ちぐゝ
(細大臣よりゝ)ゝ世ぐゝ
ゝゝ世ぐゝゝ(内府頃ゝ)ゝ
ゝゝ給ゝゝ(源)ゝ世ぐの世むすゝゝ世ぐゝ
ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

じんかうそうのこと
孟わかもの、さんとつ
れてきて、人がうしろ
近江をとりのこんを
ちもいづこ
うてこめをこれい
近江をとうこねれう
くこめをくと人いと内
府ばりつてうあうう
とやふもわさこ
ちこの梅よりをいて
花あるづりくさにち
るも仲りひりのよ
ものく
孟近江ばり人のつ花よい
くらあくいるきこ
の人さらこん
内府の近江ばのるを
のるつく

じんかてこ
しをこんもいこうぐこく梅づあ
こやうるうくてこあをこれいまこ
ようづぐこ
るもわこ
つこそこるおこのものよこれいそんひこ
のいこうこ
くこいこさいのぐこうやいあく
みどばがて女れのこよの人まいこを
ひこぐこうこんこあどはおいここん
る女房あこ
てゆこんどこよこひこくのこくぐこさ

中ねるこ
の花て八重人ものこ
ちひきひこよこうこ花
くこんぐこうこ
ここここよこ女ばいを
ひこのこく仲こ花ば八重
こんこうこやこ
細名花ここよのこのこ
こやこくこて仲こも
ここここ花こ花こ後
こも仲いこも近江ばを
いこくこここてわここ
ば近江ばもここ
ばここばこばこ
こやあこんこ宝こ

梅花をこけてこのこ
けここるこ仲こ

よいなわここ
やこなこ内府も笑こ孟こ
いこさここの
ここよこ
へぼやこいこ
のこひこさこ
みもここ
づげここ
こるかこげ
ここる花のこ
ここ梅花の中間こ
梅花花の
こここ

ここ細こ
ここ細女房の花
ここ拍こ
ここ細女房
ここ孟女房の花
ここ花
ここ孟
ここ
ここ
ここ

中ねのこはひと　曉中ね
の中ねのこはひと
ちくろ　細内府
細内府　女房
細　柳原八郎一の嫡子
どもをもちてむ人
ろくさてさいとかわ
ちくしはそう中ねぞ
のこちくちひねんと
ある河をうげうち
底ぐて　細
細　つあでしたをはの
方よりちくりまんち
愚按　細　内府の
ちぐれくくそくちうて
盃ちくれてこかちれ
のくちぐちる神ん
てをてこちちまちくりて
細　小鷹
細ちいさくめとちふちう
をしてはひての饗
と取てちくちくる　曉盃
饗　細

つるぞんよくちるりくとくちる
内府　細
中ねのこはひとどうちわくさてり
のちくちるさわちるぞりを
げちるんの　近江
のくちりよくずくおりてのぞちを
ちりくれいちぐれくちちりてめちち
細　
のくちくちれつひちくんく
日六
くちくちを　細　憲皆物
りくて　近江
盃　細
ちくちくちくちくちくちくぞ
ちくちくちくちくちくちく

つく今世の容貌醜ありさまなれハ近江まうちをどうまあうらねハ羅ろ
おもちくろうろ一統移りけりうくく人ハ羅をとりさおくばまくあさき祈なり
ゆくりうつく
くをうろづくさの。うくてりの。結ハつ
てりのまふハ 細 近江まのをまてのまて
立のをきまふくまふ内大臣初くてりの。結ハつ
内大臣内へ入ての結めを
きく。うねくまくまどやあうくまを
うくくまくのく
細 南白るれハ陳もな
さくく 畔西円
年比ゆうつまくゆくうを
まくまをくれうか 細 父内大臣と年まゆ
うくをひくく
てうくあ 細 海海の浪ゆ
海ゆのんありうりてる
をおあくあんの浪ゆ
花ゆのくまあうをう
ちうてゆまくを

げくのくをてえくくひくくでどやと
のまくハ倒のくまくどくまくくうてふ
らくどまくよのくれをひうゆくん年ゆまど
つまく。ゆくうをくくまくせくれく。
つをくまええまくねどくうくてをう
まあくくまくねくくをうをあくを
ちくうつをくくまくをくをうをあくを
くまくまくまく

[illegible]

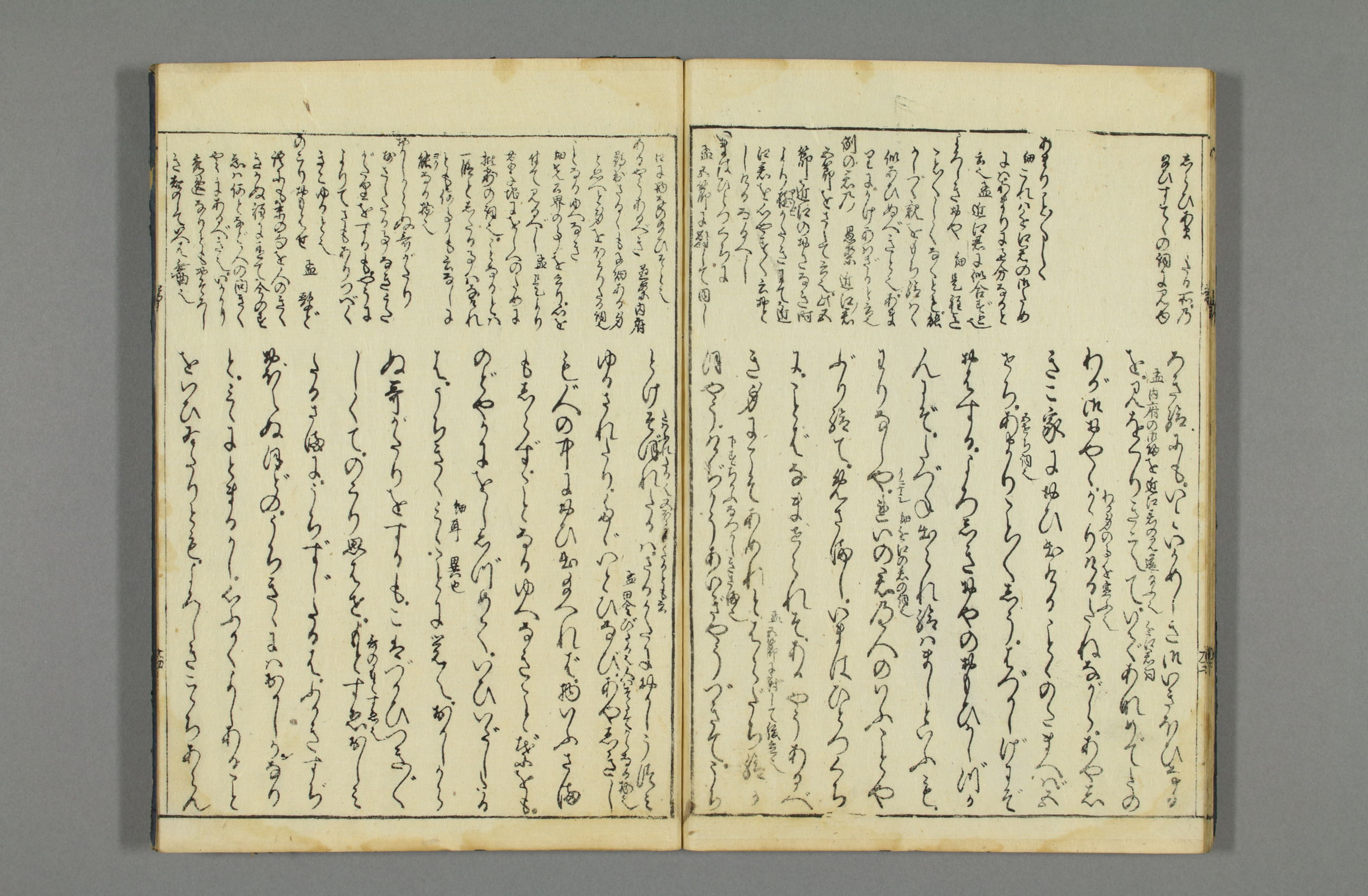
妙法寺　細　近江の国にあり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

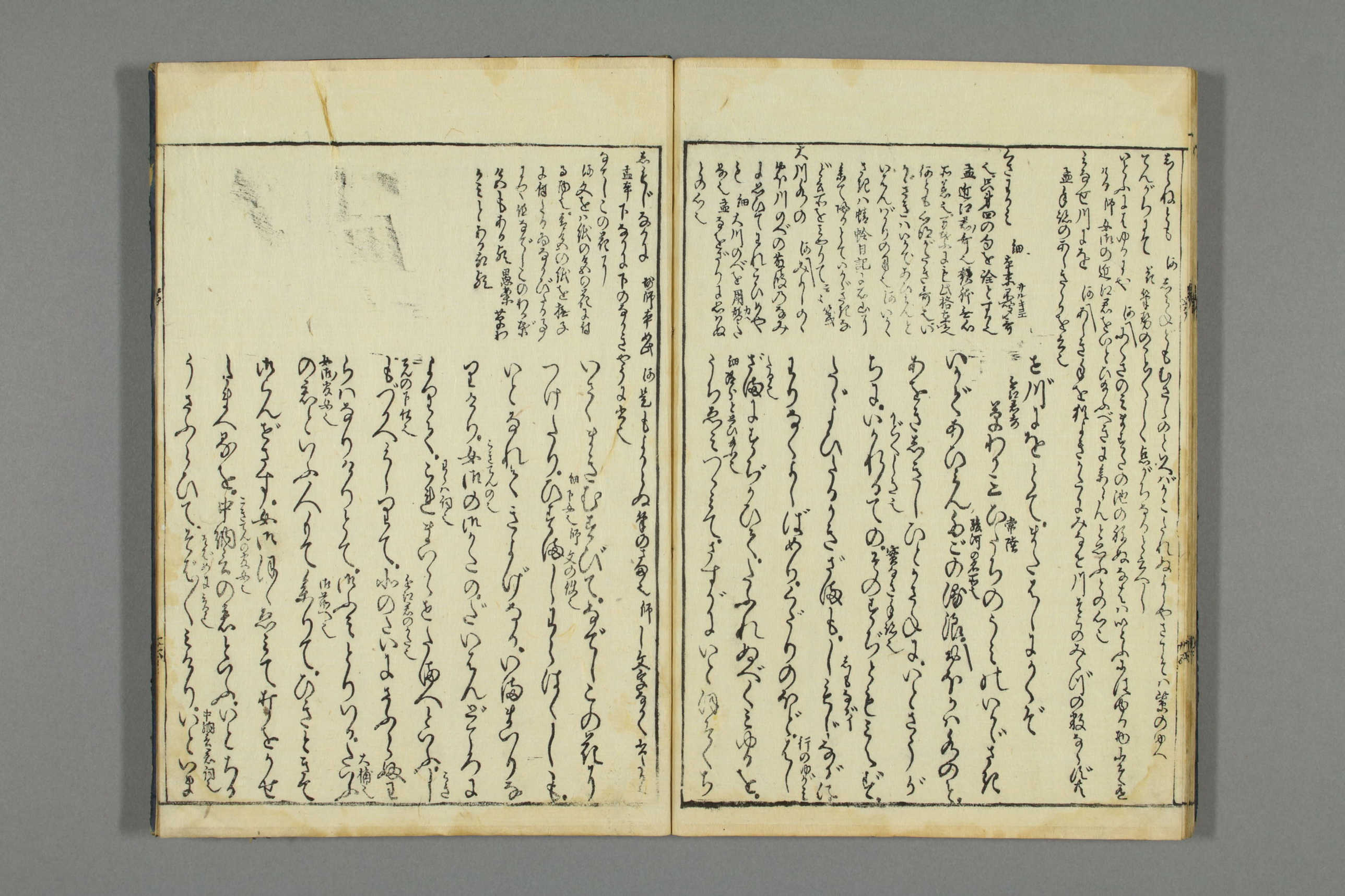
ひきうでそうよ内府のみと宣てかやうの人をひ人をひ人と女房の
ものひ女房
ものもいくよえて人ものくんるとく細くく内府のものしるの
ものもあるくくつぎ物又須元盃又着へ曇素又須いろ人〻この法師くよえ
物ん〻〻又着へ武さ義に又付て誰もくえちくくん〻〻
〻るるるるるさ人も　〻〻るさ人もをのづ〻〻人よるらひ
もぐれ物人も人中にぐ
つて人者とをるるへで
とのづ〻〻〻〻〻〻〻
〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻
〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻
〻〻〻〻



[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるとくろとく
市ゝ云めん　細　まるよ淡し
惣皆相云ようけり盛庄
まりありてうしゝ
るあるべしゝ色も
人の数なりゝゝを
べきるし

つるさうとうまめぎはくしゝあらぎや
うづきこうゝ歩射角（たかく）の俣ごゝしそぐい
ゝゝこぐをあくんし